# 提案書様式　地域共創分野・育成型

（様式1）提案書【基本情報】

（様式2）提案書【プロジェクト構想の概要】

（様式3）提案書【プロジェクト構想の詳細】★本様式

項目1全体、2-1～2-3.：合わせて上限8ページ以内（図表含む）

項目2-4. 　　　 ：上限2ページ以内（図表含む）

項目3及び4全体　　 ：上限8ページ以内（図表含む）

項目5全体　 　 ：上限2ページ以内（図表含む）

※項目6は、ページ数の指定はございません。

（様式4）提案書【資金計画】

（様式5）提案書【提案に関する補足情報】

（様式6）提案書【審査関係の連絡先情報】

※Wordに記載のフォントサイズは、10.5ポイントとしてください。（フォントの種類は制限しません）

※左右上下にそれぞれ2.0cmの余白をとってください。

※提出時には、本ページ（表紙）、各ページの青字による注釈や例示はすべて削除してから提出してください。

※本様式（様式3）には、項目に応じてそれぞれ、ページ数の上限を設けています。これらの上限を超えている場合、JST事務局による形式審査において、提案を不受理とする場合がありますので、ご留意ください。

**（様式3）提案書【プロジェクト構想の詳細】**

**プロジェクト構想の詳細**

**※提案書は、公募要領に基づき作成してください。**

**※本様式で指定した項目は変更せず、各々について具体的に記載してください。**

**※本様式では、指定した項目に応じてページ数の上限があります。**

**項目1全体、2-1～2-3.：合わせて上限8ページ以内（図表含む）**

**項目2-4. 　　　 ：上限2ページ以内（図表含む）**

**項目3及び4全体　 　：上限8ページ以内（図表含む）**

**項目5全体　 　　　 ：上限2ページ以内（図表含む）**

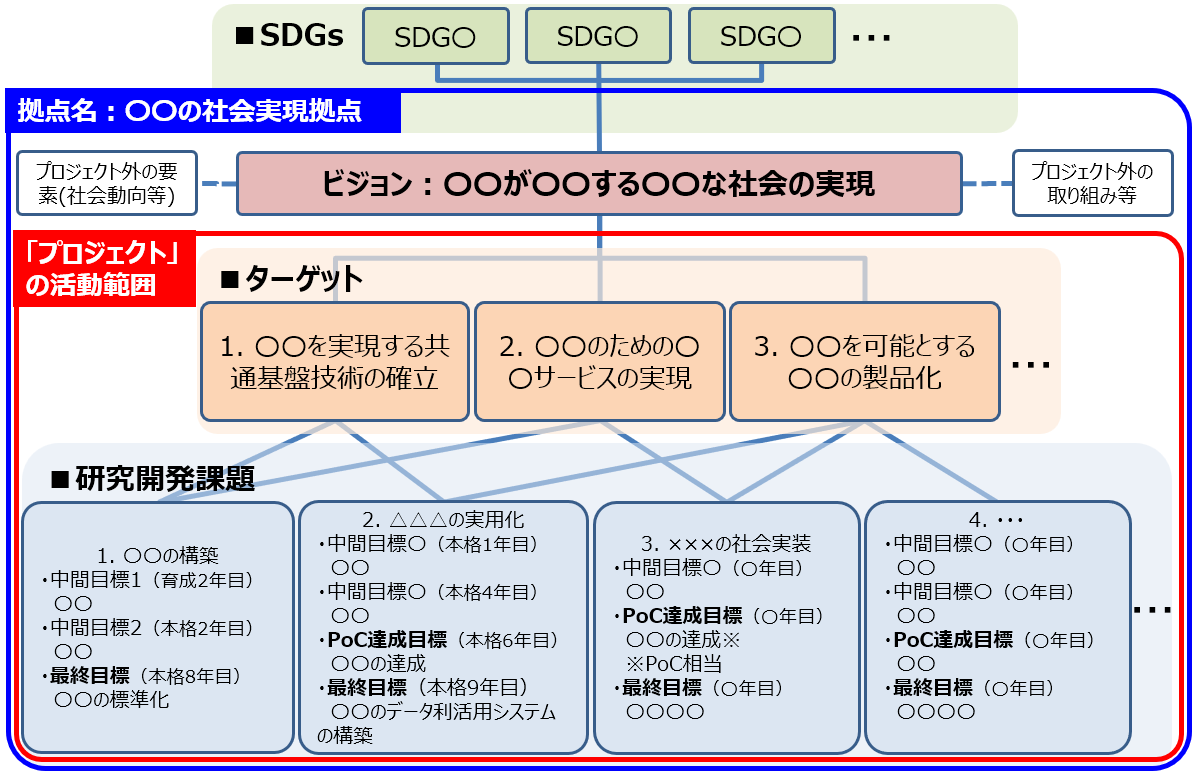
|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **拠点名称** | ※様式1と同一の内容を記載してください。 | |
| **代表機関名** | ※様式1と同一の内容を記載してください。 | |
| **拠点運営機構の 設置責任者** | ※様式1と同一の内容を記載してください。 | |
| **プロジェクトリーダー** | ※様式1と同一の内容（右の欄は、アカデミア/産業界出身の別）を記載してください。 |  |
| **副プロジェクトリーダー**  **(ｱｶﾃﾞﾐｱ/産業界出身者)** | ※様式1と同一の内容（右の欄は、アカデミア/産業界出身の別）を記載してください。 |  |
| **副プロジェクトリーダー**  **(自治体関係構築責任者)** | ※様式1と同一の内容を記載してください。 | |

**１．地域拠点ビジョン・ターゲット**

**1-1.　拠点・プロジェクトの構成図（研究開発関連）**

※本プログラムの趣旨の１つである「バックキャストによるイノベーションに資する研究開発」を表す、研究開発の側面としての拠点・プロジェクトの構成を図示してください（以下は、作成例です）。

※本格型への昇格後に追加する予定の新規課題がある場合、育成型の実施期間中から取り組む課題との区別がつくように作成してください。



**1-2.　地域拠点ビジョン**

【地域拠点ビジョン名】

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

【地域拠点ビジョン策定のもととなるＳＤＧｓ】

※複数設定することも可能です。

【地域拠点ビジョンの内容】

※**本項目は、以下の要素を適宜考慮・反映させ、地域拠点ビジョンの内容を具体的に記載**してください（必要に応じて**地域拠点ビジョンの全体像を分かり易く示した図の併記も可**）。

・地域拠点ビジョンを設定した背景（当該地域の社会的・経済的背景、他の動向、現在の課題（技術面、経済性、規制面等）、多様なステークホルダーの意見等）

・地域拠点ビジョンの策定プロセスや参画機関との共有状況

・科学技術を活用して地域課題を解決し、地域拠点ビジョンを実現するまでの見通し・展望（※地域拠点ビジョンは、本格型期間の5年度目を目途に、一部の実現の見通しが得られるようにしてください）

※**本項目は、以下の審査の観点（公募要領3.5参照）に基づいて記載**してください。

・地域拠点ビジョンは、以下の項目を満たす構想となっているか

**－**地域の社会課題を捉えた、おおむね10年後の未来のありたい地域の社会像であること

**－**地域拠点ビジョンの実現により、「人が変わる」「大学が変わる」「社会が変わる」ことが期待される野心的な内容であること

**－**「誰の」「どのような」課題を解決したいのか、SDGsのどの項目を「どのように」解決しようとするのか、という視点を踏まえていること

**－**代表機関のミッション等に基づき、自身の強みや特色を伸ばし発揮することで実現できるものであること

**－**代表機関の研究ポテンシャルを活かしつつ、地方自治体や民間企業等とのパートナーシップのもと、地域の産学官からの参画機関・参加者が自分事として、かつ総力を挙げて取り組むものであること

・地域拠点ビジョンは、全ての参画機関と十分に議論して策定され、共有されているか

【目指す将来の拠点像】

※地域拠点ビジョンと併せて、地域拠点ビジョンの実現に向けて必要であり相応しい「目指す将来の拠点像」を設定してください。

※記載にあたっては、代表機関のミッション等における提案プロジェクト（拠点）の位置づけを明確化した上で、その位置づけを踏まえて、どのように自身の強みや特色を伸ばし発展させていくか、代表機関としてプロジェクト終了時にどのような姿になっていたいのか（目指す将来の機関像）も明確化してください。

**1-3.　ターゲット**

※地域拠点ビジョンからのバックキャストにより設定するターゲットについて、**以下の審査の観点（公募要領3.5参照）に基づいて、ターゲットごとに具体的な内容を記載**してください。

・ターゲットは、以下の項目を満たす構想となっているか

**－**「誰の」「どのような」課題を解決したいのか、SDGsのどの項目を「どのように」解決しようとするのか、という視点を踏まえていること

**－**地域拠点ビジョンからのバックキャストを踏まえ、ターゲットの達成が地域拠点ビジョンの実現につながることを、科学的根拠に基づき論理的に説明可能であること

・ターゲットは、全ての参画機関と十分に議論して策定され、共有されているか

**(a)　ターゲット1：○○○○**

**・ターゲット設定の背景**

※地域拠点ビジョンの実現にあたって地域課題の解決を望む主体は誰であり、それはどのような課題であるかを的確に捉えた上で、地域拠点ビジョン実現にこのターゲットが必要な具体的な理由を記載してください。

**・達成すべき目標**

※ターゲットの内容と、実現を目指す具体的な目標及び実現する時期を記載してください。

**(b)　ターゲット2：○○○○**

**・ターゲット設定の背景**

**・達成すべき目標**

※ターゲットの数に応じて追加してください。

**1-4.　地域拠点ビジョンの作り込み、およびターゲットの柔軟な見直しについて**

※地域拠点ビジョンは、プロジェクト期間中を通じて参画機関・参加者との議論を重ね、深掘りやブラッシュアップ等の作り込みを行い、プロジェクト内での共有を図っていただきます。並行して、地域拠点ビジョンの下のターゲットについては、社会動向の変化やプロジェクトの進捗状況を踏まえつつ、地域拠点ビジョンからのバックキャストを繰り返して、柔軟に必要な見直しを行うことが求められます。こうしたことに、参画機関とともにどのように対応する計画か、そのプロセスや体制を具体的に記載してください。

※育成型期間中の計画を記載してください。

**２．研究開発課題**

※ターゲットの達成に向けて設定する研究開発課題ごとに、育成型期間中の具体的な計画を記載しつつ、本格型への昇格の構想が分かるようにしてください。その際、どのターゲットと関連があるのかが分かるように記載してください。

※**本項目（各研究開発課題の内容（体制、計画を含む）やロードマップ等）は、以下の審査の観点（公募要領3.5参照）に基づいて記載**してください。

・研究開発課題は、本格型への昇格を見据えて以下の項目を満たすことが期待されるか

**－**ターゲットの達成に必要な内容であること

**－**先行する取組のほか、従来技術や既存知的財産の確認等による現状調査と、それらとの徹底的なベンチマーキングを行い、自らの強みと弱みを正確に捉えた上で、国内外の他の研究開発や代替手段と比較して優位性があること

**－**代表機関等の強みや特色を伸ばし発揮すること

**－**産学官連携や異分野融合といった観点を踏まえた複数の研究開発課題の設定

**－**研究成果の社会実装にあたっての課題（経済性、社会制度・規制面等）の抽出や対応方針の考慮

・ロードマップには、研究開発課題ごとに中間目標及び最終目標が適切に設定されることが期待されるか

**2-1.　各研究開発課題の内容**

**(a)　研究開発課題1：○○○○**

**（1）関連するターゲット名**

ターゲット○：○○○

**（2）本研究開発課題の必要性**

**（3）研究開発体制**

|  |  |
| --- | --- |
| **研究開発課題リーダー** | 氏名（○○大学　○○研究科　教授） |
| **参画機関（大学等）** | ○○大学、◯◯研究開発法人◯◯研究所  ※代表機関・幹事機関も、本欄に記載ください。 |
| **参画機関（大学等を除く）** | AA（株）、◯◯県  ※幹事機関も、本欄に記載ください。 |

※提案時点で機関名称を記載できない場合は、「電機メーカーＡ」等の記載で結構です。

**（4）研究開発計画**

※以下の観点を含め、具体的な研究開発の内容・計画を記載してください。

・育成型期間終了時に達成すべき定量的目標

・研究開発課題の育成型期間終了時の達成目標と比較した、現在の当該体制での研究開発のステータス

・関与する各参画機関の役割・必要性

・育成型で設定した目標が達成できた場合に、本格型への昇格時に本研究開発課題に追加する予定の研究項目及び参画機関

**（5）ベンチマーク**

※地域の社会課題の解決にあたり、他の研究開発や代替手段と比較した優位性等が明確であることが必要です。以下について国内外の研究開発動向を含め定量的に記載してください。

・技術的課題と、その難易度及び実現可能性の把握

・従来技術や既存知的財産権（例えば競合する知財の出願範囲・権利範囲等）の確認、

本提案創出技術の優位性・相違点の把握

・研究成果の社会実装にあたっての課題（研究・技術面、経済性、規制面等）の把握

**(b)　研究開発課題2：○○○○**

※研究開発課題の数に応じて項目を追加してください。

**2-2.　研究開発課題の構想**

※前項とは別に、「育成型での実施を調整中の研究開発課題」「本格型への昇格時から新規で実施予定の研究開発課題」の構想（研究開発体制も含む）がある場合は簡潔に記載してください。その際、当該研究開発課題の必要性や妥当性も記載してください。

**2-3.　研究開発課題の追加・入替・中止等について**

※研究開発課題については、社会動向の変化やプロジェクトの進捗状況を踏まえつつ、地域拠点ビジョン・ターゲットからのバックキャストを繰り返して、必要に応じて追加・入替・中止等を行うことができます。こうしたことにどのように対応する計画か、そのプロセスや体制を具体的に記載してください。

**※重要：ここまでの項目１の全て、2-1～2-3.の記載項目の上限を、8ページとします。**

**2-4.　研究開発予定表**

※本項目は、2ページを上限とします。

※表に記載する目標に基づき、ロードマップの図を作成してください（ロードマップは以下の例示を参考に作成し、表と図の目標番号を合わせてください）。

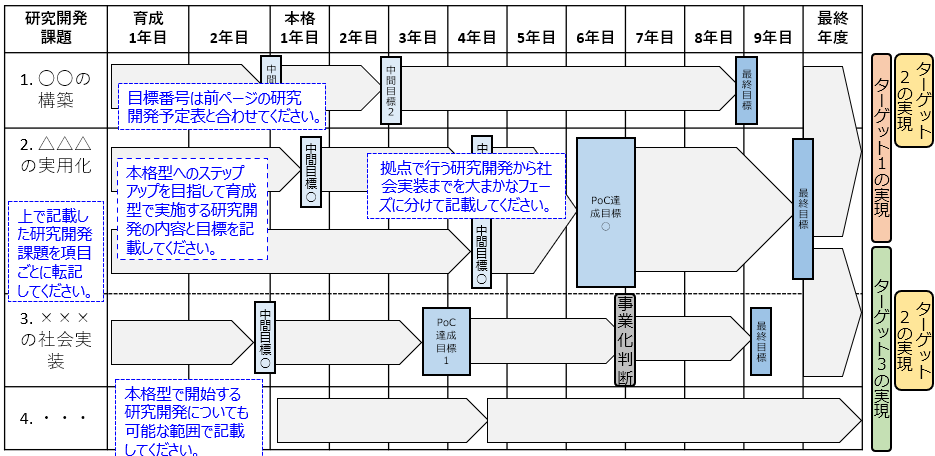
※研究開発課題ごとに、本格型での実施も想定した中間目標及び最終目標を記載してください。目標は、地域拠点ビジョンやターゲットの達成に向けて適切な時間軸と、進捗管理にふさわしい具体性をもって設定してください。

※PoC達成の判断基準（PoC達成目標。公募要領「2.4.2　研究開発課題」参照）は採択後に設定いただくため、必ずしも本提案時にPoC達成目標を含める必要はありません。

※研究開発課題とターゲットとの関係がわかるように記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| **研究開発課題1「○○○」の目標** | |
| 中間目標○ | ※目標の内容を記載してください |
| 中間目標○ |  |
| 最終目標 |  |
| **研究開発課題2「○○○」の目標** | |
| 中間目標○ |  |
| 中間目標○ |  |
| PoC達成目標 |  |
| 最終目標 |  |

**（例示）**

****

**※重要：本記載項目2-4.の上限を、2ページとします。**

**３．運営体制**

※ 参画機関のうち、運営体制の構築のみに関わる機関（各研究開発課題には関わらない）があれば、以下の表に記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| **参画機関（大学等）** | ○○大学、◯◯研究開発法人◯◯研究所  ※代表機関・幹事機関のうち該当機関があれば、それらも本欄に記載ください。 |
| **参画機関（大学等を除く）** | AA（株）、◯◯県  ※幹事機関のうち該当機関があれば、それらも本欄に記載ください。 |

※**「3-1」～「3-4」の各項目は以下の審査の観点（公募要領3.5参照）に基づいて記載**してください。

・拠点運営機構の体制や運営方針が、以下の項目への対応を通じて、本格型への昇格に向けて十分整備されると期待できるか

**－**プロジェクトマネジメントに関する十分なリーダーシップや資質があるPL及び副PLの配置（※）

**－**PL及び副PLがリーダーシップを発揮するために必要な環境の整備（権限の付与等）

**－**代表機関の既存の産学官連携体制・ノウハウ等を活用・連携した効果的・効率的な運営体制の構築

・代表機関が全面的に拠点の運営・活動を支援する体制構築が期待できるか

・産学官共創システム構築に係る以下の項目について期待できるか

**－**産学官連携ガイドラインも踏まえつつ適切な産学官共創システム構築の方針の策定

**－**研究開発基盤の整備・運用方針の適切さ

**－**外部リソースの獲得計画の妥当性

**－**研究人材・マネジメント人材の育成方針の妥当性

・幹事自治体が、以下の項目への対応を通じて、拠点運営に対して組織的かつ積極的に関与することが期待できるか

**－**副PL（自治体関係構築責任者）の適切な配置

**－**大学等との関係構築の推進（代表機関等との人事交流等）

・拠点において、適切な「地域共創の場」の設置が検討されているか

・拠点において、年齢や性別、国籍を問わず、多様な専門性、価値観等を有するプロジェクト運営が期待できるか

　　※PL及び副PLに求められる役割等

・PL：機構運営機構の長として機構を指揮すること

・副PL：PLを補佐して拠点運営全体を担うとともに、PLによる拠点運営機構の指揮を補佐すること

・副PL（自治体関係構築責任者）：拠点に参画している地方自治体と大学等との関係構築を指揮すること

・産業界出身のPLないし副PL：アカデミア出身のPLないし副PLと連携しつつ、プロジェクト進捗管理、知財戦略・知財マネジメント、将来の実用化・社会実装に向けた取組、及び産学官共創システムの構築等を指揮すること

**3-1.拠点運営機構を中心とするマネジメント体制図**

※拠点運営機構は、代表機関においてプロジェクト・拠点の全体管理を担う組織として、産学官共創システムの構築における中核的な役割を担います。以下の例示を参考に、拠点運営機構を中心とするマネジメント体制を図示してください（項目1-1.とは異なります）。

ダイアグラム が含まれている画像

自動的に生成された説明

**3-2.　地域共創の場**

※以下に示す役割を担う会議体であることに留意し、代表機関が幹事自治体や主たる参画企業等とともに、運営・推進する計画や構想について、具体的に記載してください。

　・産学官のステークホルダーが集い、地域拠点ビジョンを策定すること

・地域拠点ビジョンの達成に向けた計画の進捗確認とそれを踏まえた拠点の活動に係る支援、必要に応じた地域拠点ビジョンの見直しを行うこと

・地方自治体（幹事自治体等）の政策立案・実行等に対し、拠点活動に立脚した提言をすること

・その他、地域拠点ビジョンの実現に向けた、構成員の出身組織等による支援に係ること

※文部科学省がガイドラインを提示している「地域連携プラットフォーム」を代表機関や幹事自治体が関わって設置している（予定を含む）場合は、同プラットフォームを活用しつつ運用する計画や構想についても記載してください。

**3-3.　拠点運営機構**

**(a)　代表機関及び拠点運営機構の設置責任者の基本方針**

※本項目は、以下の内容を含む記載としてください。

　・PL及び副PLに求める役割

・PL及び副PLに配置した人材が、それぞれに求められる役割等に照らして、プロジェクトを先導する者として適任と考える理由（PL及び副PLのこれまでの職歴や業務経験、現在の役職等を踏まえて記載してください。特に、産業界出身のPLないし副PLについては、プロジェクト進捗管理、知財戦略・知財マネジメント、将来の実用化・社会実装に向けた取組、及び産学官共創システムの構築等を指揮することが求められていることを踏まえて記載してください。）

　・代表機関及び拠点運営機構の設置責任者が、具体的にどのようにPL及び副PLのリーダーシップを発揮させるようにしているのか

※なお、拠点運営機構の設置責任者は、代表機関の長または担当理事等です。

**(b)　代表機関のミッション等における提案プロジェクト（拠点）の位置づけ**

※大学の強みや特色を伸ばす観点から、以下の内容を具体的に記載してください（必要に応じて図示も可）。

・代表機関のミッション等における提案プロジェクト（拠点）の位置づけ

・提案プロジェクト（拠点）が、代表機関自身のミッション等に基づく社会的役割を果たすことに寄与する構想・道筋

・代表機関等が自身の強みや特色をさらに発揮し、伸ばしていくための計画

・本プログラムにおける、地域拠点ビジョンの共有により「人が変わる」、持続的な産学官共創システムの整備・運営により「大学が変わる」、科学技術イノベーションによる社会システムの変革により「社会が変わる」ことを目指す趣旨を踏まえ、大学の「なに」を「どのように」変えたいのかに関する考え

※ミッション等が掲載されている代表機関の文書名及び該当箇所も併せて記載してください。

※本プログラムの位置づけが判るように、本プログラム以外の外部資金の活用や組織見直し等も、記載してください。

**(c)　代表機関における複数プロジェクトの関係性**

※**同一の代表機関が、本提案のほか、別の提案を行う場合又は提案時点で本プログラムを実施中の拠点（政策重点分野を除く。以下、「既存拠点」という。）がある場合には、以下の３点について必ず記載**してください。

　・本提案以外の提案（既存拠点の取組含む）の目的・概要

　・本提案及び別の提案（既存拠点の取組含む）との関係性（体制面や研究開発面で相互連携する内容等）

　・上記の内容を踏まえ、別の提案（既存拠点の取組含む）に加え、本提案を実施することにより見込まれる相乗効果

※上記に該当しない場合は「該当なし」と記載してください。

**(d)　拠点運営機構の運営体制と具体的取組・構想**

※プロジェクト・拠点を運営・支援する体制の構想について、準備状況とともに記載してください。その際、代表機関の既存の組織・体制（産学連携本部、管理部門、オープンイノベーション機構、TLO等）の役割や連携内容が分かるように記載してください。

※本格型への昇格を見据えて、代表機関における拠点の全体管理等の取組の構想（PLや副PLのリーダーシップや積極的・柔軟なマネジメント力を発揮するための方策や拠点の活動状況を代表機関及び参画機関の間で共有する仕組みなど）について記載してください。

※代表機関が①本年度、本プログラムに複数の提案を予定している場合、②過去に本プログラムに採択されている場合（最近まで実施していた場合を含む）並びに③他の産学官連携拠点形成型プログラム等を実施している（最近まで実施していた場合を含む）場合、これらの運営組織との連携や、その能力・経験を活用することにより、効率的・効果的な運営についても考慮の上、それが分かるように記載してください。

**(e)　プロジェクトリーダー（PL）の基本方針**

※拠点運営機構のもとでプロジェクト・拠点の全体管理の実質的責任を担う立場として、PLは、関係する機関・メンバーとともに、提案する拠点をどのように先導しようとするのかについて、基本方針を具体的に記載してください。

※その際、年齢や性別、国籍を問わず、多様な専門性、価値観等を有するプロジェクト運営も考慮し、そのために取り得る方策についても記載してください。

※産業界出身のPLないし副PLには、公募要領「2.3 プロジェクトにおける組織・責任者　(8)PL及び副PL」に記載されるように、アカデミア出身のPLないし副PLと連携しつつ、プロジェクト進捗管理、知財戦略・知財マネジメント、将来の実用化・社会実装に向けた取組を指揮する役割を担うことが期待されています。PLとして、これらの点をどのように進めようとするのかについて、基本方針を具体的に記載してください。

**3-4.　産学官共創システム構築の計画・構想**

※産学官共創システムとは、代表機関を中核とし、多様なステークホルダーの参画のもと、良質な研究開発成果・知財やデータの創出・活用、事業化・社会実装、ベンチャー創出、人材育成等の「知」、「資金」、「人」の好循環を生み出すマネジメント体制が整備されたシステムです。**以下の(i)から(ix)のそれぞれについて記載してください。**

※本プログラムは「産学官連携による共同研究強化のためのガイドライン」を踏まえた産学官連携マネジメント改革に取り組むこととしています。当該ガイドラインを踏まえた内容としてください。

「産学官連携による共同研究強化のためのガイドライン」

【https://www.mext.go.jp/a\_menu/kagaku/taiwa/1380912.htm】

「産学官連携による共同研究強化のためのガイドライン【追補版】」

【https://www.mext.go.jp/content/20230329-mxt\_sanchi02-000020147\_01-2.pdf】

※産学官連携マネジメント改革には、研究領域や学部等を横断した研究者の組織化を行うための取組（知的財産権の積極的活用を前提とした契約、産学官連携が進む人事評価制度、インセンティブとしての給与、スペース、研究費配分への反映等）を期待します。

**(i)　全体運営における場作り**

※拠点運営に必要な規約等の策定や全ての参画機関が研究進捗の共有・意見交換を行うことのできる場・機会をどのように設定するかについての構想を記載してください。

**(ii)　研究開発企画（地域拠点ビジョン・ターゲット・研究開発課題の探索・構築）**

※地域拠点ビジョンの策定・共有、新たなターゲット・研究開発課題の設定（その繰り返し・更新を継続）や新たな技術シーズの発掘とニーズ・課題とのマッチング、研究開発課題の組成をするための取組についての構想を記載してください。

**(iii)　産学官連携マネジメント**

※計画・進捗管理、知財・データの管理・活用、経理・契約管理、代表機関及び参画機関間での調整、持続的な産学官共創システムの形成に向けた取組についての構想を記載してください。

※企業等が参画することへの価値を提供できる知的財産の取扱い等の方針について記載してください。

**(iv)　研究開発基盤**

※基幹となるサイエンスの創出・育成の構想について記載してください。

※機器・施設（実証フィールド含む）の整備や運用等の構想について記載してください。代表機関及び参画機関の機器・施設を利用・共用する構想があれば、その内容も記載してください。

※異分野融合、新分野開拓のための取組についての構想を記載してください。

**(v)　外部リソース獲得**

※自立化に向けた資金計画の検討、新たな参画機関の勧誘、共同研究や資金・リソース拠出等に係る企業等との交渉、競争的研究費等の獲得活動、拠点の広報活動、大学等発ベンチャー投資への対応など外部リソース獲得の取組についての構想を記載してください。

※大学等の民間資金の受け入れにおいて、現在の費用負担状況、及びこれから取り組む具体的な費用負担（教員及び学生等の人件費の算定方法や間接経費を含めた共同研究に必要となる経費の算定方法を含む。）等の方針について記載してください。

**(vi)　出口戦略・社会実装に向けたマネジメント**

※社会ニーズの把握、社会実装を担う企業との連携・新規参入のコーディネート、実証フィールドや成果の社会実装の場となる地方自治体との連携・新規参入のコーディネート、スタートアップ立上げ支援、知財化・ライセンスアウトの推進、コンソーシアムの形成・運営など、創出される成果の出口戦略、社会実装に向けた方針について記載してください。

**(vii)　人材育成**

※持続的な拠点の維持・発展に向けた、マネジメント人材・研究人材の育成取組についての構想を記載してください。

※大学、公的研究機関、企業等の組織の壁を越えて、人材が流動化するための方針について記載してください。

※産学官連携活動に継続的に携わることができる柔軟な人事評価制度を設計するための方針について記載してください。

**(viii)　地域創生・地域活性化**

※学生が当該地域に定着する仕組みの構築や幹事自治体をはじめとする拠点に参画している地方自治体との密な連携活動等、拠点活動を通じた地域創生・地域活性化に向けた取組の構想について記載してください。

**(ⅸ)　その他**

※上記以外の機能に関する取組について、必要に応じて適宜記載してください。

**４．持続可能性**

※**本項目は、プログラムを通じて自立的・持続的な地域産学官共創拠点の形成を目指す観点から、審査の観点（公募要領3.5参照）も踏まえつつ、以下の内容を具体的に記載**してください。

・代表機関が、本格型プロジェクト終了後も責任をもって拠点の持続・発展に貢献する構想

（代表機関のミッション等に基づいて、拠点の持続・発展に向けてどのような支援を行い、当該支援をどのように具体化・実現していく予定なのかなどについて記載してください）

・幹事機関（幹事自治体含む）が、本格型プロジェクト終了後も責任をもって拠点の持続・発展に貢献する構想

（拠点の持続・発展に向けてどのように関与していく予定なのかなどについて記載してください）

・本格型プロジェクト終了後の拠点の自立化に向けた取組（資金確保や研究人材・マネジメント人材の継続雇用）に関する構想

（育成型期間の取組計画・達成目標等を踏まえつつ、本格型期間を経て自立化に至るまでにおいて、当該自立化に向けた取組をどのように具体化・実現していく予定なのかなどについて記載してください）

**※重要：ここまでの項目３及び４の全ての記載項目の上限を、8ページとします。**

**５．提案の基盤となるこれまでの取組**

※国の競争的研究費制度やその他の研究助成制度等による取組のうち、提案の基盤となる主要な取組について、制度名、研究開発課題名、研究期間、研究費の額（期間全体の総額）を記載の上、提案との関係や提案にどのように活かされているのかを簡潔に記載してください。本提案の基盤となる取組の中に産学官連携体制を構築したものがあれば記載してください。

※本提案の基盤となる取組であれば、対象はプロジェクトリーダーに限らず、副プロジェクトリーダー、研究開発課題リーダー及び研究開発責任者等の取組も含みます。

※[本提案との関係等]の１～３．の中で該当がないものは「該当なし」と記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 制度名： | |
| 課題名等： | |
| 実施期間：　　年　月～　年　月 | 研究費（百万円）※期間総額： |
| [本提案との関係等]  １．本提案の基盤となった研究成果  ２．本提案と共通する研究機関・研究者  ３．構築した産学官連携体制（本提案に関わるもの） | |

※必要に応じて枠を追加してください。

**※重要：項目５の記載項目の上限を、2ページとします。**

**６．特殊用語等の説明**

|  |  |
| --- | --- |
| **用語** | **説明** |
| ※提案書で使用している業界用語、専門用語及び略語等の特殊用語のうち、研究開発を総合的に把握するうえで必要と思われる用語について、わかりやすく簡単に解説を記入してください。  ※必要に応じて行を追加してください。 |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |